

庄内町林道施設長寿命化計画  
(個別施設計画)



令和3年3月

庄内町

## 1 基本的事項

本町における林道施設は、令和2年度末で橋梁11橋を管理している。

現時点で建設後50年を経過した橋梁は7橋となり、全体の60%を占め、急速に老朽化した施設が増える状況である。今後、施設の補修に要する維持管理費が急増することが見込まれることから、コスト削減への取組が必要となる。

そこで、各施設において、適切な点検、診断を行い必要な対策を実施していく。

なお、本計画は「庄内町公共施設等総合管理計画」（令和3年3月改訂）に則ったものであり、林道施設の1つである林道橋の個別施設計画として位置付けるものである。

建設後経過年数別

10年～30年	1橋	9%
31年～60年	4橋	36%
61年～90年	4橋	36%
不明	2橋	19%
合計	11橋	

橋種別

RC橋	7橋	64%
PC橋	3橋	27%
鋼橋	1橋	9%
合計	11橋	

## 2 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおりである。

## 3 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は別紙のとおりである。

## 4 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は別紙のとおりである。

## 5 施設の現状等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握した施設毎の状態は別紙のとおりである。

## 6 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の現状等」を踏まえ、長寿命化に資する対策の内容及び実施時期について別紙のとおり計画する。

庄内町公共施設等総合管理計画により、すでに修繕・更新の時期が決まっている施設以外は、準備期間を設置し、本計画の策定から2年後以降の修繕・更新とするとしているが、林道小倉山線、林道生繰沢線の橋梁に関しては早期に補修を行う必要があるため、令和4年度に実施する。

## 7 対策費用

個別施設ごとの対策費用の概算については別紙のとおりである。なお、この金額は計画策定時における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。



※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	001	林道台帳索引番号	2	施設管理者	庄内町
路線名	宇津野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字上大揚	起点からの距離	0.05km	建設年度	1932
供用年数	不明	種別	R C 橋	型式	床版+ボックス
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m		幅員(車道幅員)	3.9m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	R C 床版			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	18050m		
施設の目的 利用実態等	林道宇津野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在する。またトレッキング等で多くの利用者もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月7日				
	調査結果	床版に剥離、鉄筋露出が数ヶ所みられ今後範囲が広がり劣化が進むことが見込まれる。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	断面補修工を行う。				
	実施予定時期	令和5年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともゴルフ場側から侵入可能なため。			
	対策費用(概算)	断面修復工 約2,900千円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物の断面補修工を早期に行うとともに、適切な時期に定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)			2.9		0.3					0.3
対策の内容・実施時期			補修工		定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	002	林道台帳索引番号	2	施設管理者	庄内町
路線名	宇津野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字下大平澤	起点からの距離	1.1 km	建設年度	1936
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	ラーメン橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.7 m		幅員(車道幅員)	3.5m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RCラーメン橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式		基礎形式	不明		
橋脚工型式	-	海岸からの距離	19770m			
施設の目的 利用実態等	林道宇津野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在する。またトレッキング等で多くの利用者もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月7日				
	調査結果	地覆に0.5mm程度のひびわれが見られ、今後注視する必要がある。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年に実施する				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともゴルフ場側から侵入可能なため。			
	対策費用(概算)	定期点検 約300千円				
管理方法	長寿命化対策として、適切な時期に定期点検を行う。又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	003	林道台帳索引番号	2	施設管理者	庄内町
路線名	宇津野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字小堤	起点からの距離	1.3 km	建設年度	1936
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m		幅員(車道幅員)	3.9m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19740m		
施設の目的 利用実態等	林道宇津野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在する。またトレッキング等で多くの利用者もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月7日				
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられ、コンクリートがもろく感ずる。断面修復工の対策が必要。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	断面補修工を行う。				
	実施予定時期	令和5年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともゴルフ場側から侵入可能なため。			
	対策費用(概算)	断面補修工 約1,300千円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物の断面補修工を早期に行うとともに、適切な時期に定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)			1.3		0.3					0.3
対策の内容・実施時期			補修工		定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	004	林道台帳索引番号	2	施設管理者	庄内町
路線名	宇津野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字小堤	起点からの距離	1.5 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m		幅員(車道幅員)	4.0m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19600m		
施設の目的 利用実態等	林道宇津野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在する。またトレッキング等で多くの利用者もみられる。					
施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和2年12月7日				
	調査結果	軽微だが、上部工、下部工に鉄筋露出、欠損等がみらる。またコンクリートがもろい感じがすること、橋台が少し傾斜している。今後の点検に注視する必要がある。				
	健全性の 診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和4年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともゴルフ場側から侵入可能なため。			
	対策費用 (概算)	臨時点検 約300千円				
管理 方法	長寿命化対策として、適切な時期に臨時点検、定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)		0.3			0.3					0.3
対策の内容・実施時期		臨時点検			定期点検					定期点検

備考										



※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	005	林道台帳索引番号	2	施設管理者	庄内町
路線名	宇津野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字上大平澤	起点からの距離	1.8km	建設年度	1961
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6m		幅員(車道幅員)	3.9m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	19560m		
施設の目的 利用実態等	林道宇津野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在する。またトレッキング等で多くの利用者もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月7日				
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられ、今後劣化が進展することが見込まれる。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	断面補修工を行う。				
	実施予定時期	令和5年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともゴルフ場側から侵入可能なため。			
	対策費用(概算)	断面補修工 約1,300千円				
管理方法	長寿命化対策として、断面修復工を早期に行い、適切な時期に臨時点検、定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)			1.3		0.3					0.3
対策の内容・実施時期			補修工		定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	006	林道台帳索引番号	3	施設管理者	庄内町
路線名	松木沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	狩川字松木沢	起点からの距離	0.54 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	ラーメン橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m		幅員(車道幅員)	3.4m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	PC ラーメン橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	-
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	-	基礎形式	不明		
橋脚工型式	-	海岸からの距離	19340m			
施設の目的 利用実態等	林道松木沢の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月14日				
	調査結果	施工が新しいので、大きな損傷は見られない。				
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、本橋梁が使用できなくともふるさと農道から侵入可能なため。			
	対策費用(概算)	定期点検 約300千円				
管理方法	長寿命化対策として、定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	007	林道台帳索引番号	8	施設管理者	庄内町
路線名	工藤沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	かのみや橋
施設の所在地	科沢字西山	起点からの距離	0.37 km	建設年度	2007
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.0m		幅員(車道幅員)	6.0m (5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装仕様の有無	不明
		支承形式	支承版支承	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	-		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	26190m		
施設の目的 利用実態等	林道工藤沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月14日				
	調査結果	支承、その他に使用するボルトネジに腐食が進行している。防護柵に変形がみられる。今後の点検に注視する必要あり。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、大きな損傷が起きていないため。			
	対策費用(概算)	定期点検 約300千円				
管理方法	長寿命化対策として防護柵の補修を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	008	林道台帳索引番号	8	施設管理者	庄内町
路線名	工藤沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	科沢字西山	起点からの距離	0.7 km	建設年度	1967
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	ラーメン橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.0m		幅員(車道幅員)	6.0m (5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RCラーメン橋			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装仕様の有無	不明
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	-	基礎形式	不明		
橋脚工型式	-	海岸からの距離	25740m			
施設の目的 利用実態等	林道工藤沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月21日				
	調査結果	防護柵全般に腐食みられる。他の部材は健全である。次回の点検時に注視が必要。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年に実施する。				
	施設の優先度	低	交通量が少なく、大きな損傷が起きていないため。			
	対策費用(概算)	定期点検 約300千円				
管理方法	長寿命化対策として5年に1回の定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	009	林道台帳索引番号	9	施設管理者	庄内町
路線名	小倉山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	肝煎字板敷	起点からの距離	0.5 km	建設年度	1980
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.2m		幅員(車道幅員)	4.8m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	PC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	不明
		支承形式	ゴム	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	23380m		
施設の目的 利用実態等	林道小倉山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月21日				
	調査結果	防護柵の欠損が生じている。安全上補修が必要。				
	健全性の診断結果	III (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	防護柵が上流部全損、下流部一部欠損なので、防護柵工の対策が必要。				
	実施予定時期	令和4年に実施する。				
	施設の優先度	高	防護柵が無い状態で安全上危険な状態であるため。			
	対策費用(概算)	防護柵補修工 約1,300千円				
管理方法	長寿命化対策として防護柵の補修を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)		1.3			0.3					0.3
対策の内容・実施時期		補修工			定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	010	林道台帳索引番号	11	施設管理者	庄内町
路線名	生繰沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	肝煎字東大澤	起点からの距離	0.05 km	建設年度	1969
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.2m		幅員(車道幅員)	4.0m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	PC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	不明
		支承形式	ゴム	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	22530m		
施設の目的 利用実態等	林道生繰沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月21日				
	調査結果	主桁、床版全域に遊離石灰が生じている。橋台にひびわれが確認。放置していると劣化が進展することが見込まれる。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	ひび割れ補修工法による補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年に実施する。				
	施設の優先度	中	交通量は少ないが、本橋梁を使用しなければ対岸への侵入が不可能なため。			
	対策費用(概算)	ひび割れ補修工 約600千円				
管理方法	長寿命化対策としてひびわれ補修を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)		0.6			0.3					0.3
対策の内容・実施時期		補修工			定期点検					定期点検

備考										

※個々の施設毎に作成

別紙(個票)

個別施設整理番号	011	林道台帳索引番号	17	施設管理者	庄内町
路線名	水沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	科沢字堅田	起点からの距離	0.57 k m	建設年度	1946
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	コンクリートアーチ橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.7m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.4m)
	施設の構造等	上部工型式	RCアーチ橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装仕様の有無	不明
		支承形式	-	橋落防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	25800m		
施設の目的 利用実態等	林道水沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから森林組合等により頻繁に利用されている。また近隣地域を結ぶことで、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年12月25日				
	調査結果	防護柵に腐食、防食機能の劣化がみられた。地覆に遊離石灰が生じている。点検時に注視する必要あり。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年～令和12年				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年に実施する。				
	施設の優先度	中	交通量は少ないが、本橋梁を使用しなければ対岸への侵入が不可能なため。			
	対策費用(概算)	定期点検 約300千円				
管理方法	長寿命化対策として5年に1回の定期点検を行う。 又排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										